

「STOP!ヒートショック」プロジェクトについて

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社は、今年度も「STOP ! ヒートショック（以下、本プロジェクト）」による取り組みを推進しています。本プロジェクトは、ヒートショックの認知度向上と対策の更なる普及・啓発を目的に、当社を含む協賛企業が2018年に立ち上げたもので、これまでイベント開催や啓発ツールの配布、公式ウェブサイト等を通じた発信活動を行ってまいりました。

■各方面との連携強化と専門家による確かな情報提供の実施

本プロジェクトでは、住まいの環境整備が居住者の健康につながる情報の発信を行うほか、健康に資する住まいの改修等の情報発信をリフォームなど住宅関連業界に発信しています。また、公式SNS(X、Instagram)での積極的な発信、自治体からの発信への協力なども実施。医師をはじめとする専門家による対策コラムの発信などを行っています。さらに、今年度からは勉強会用のテキストを作成し各方面で活用していただきしており、恐怖感をあおるのではなく

く、正しい知識を持ち、対策することでヒートショックは防げることを啓発しています。

■ヒートショック対策が気になりだした方の「次の一步」をバックアップする新サイトオープン

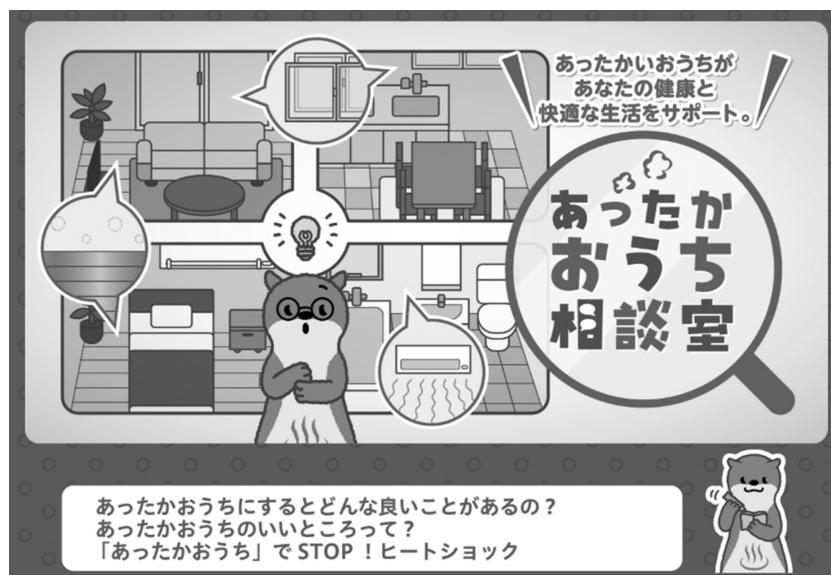
本プロジェクトでは今年度、12月4日に新サイト「あったかおうち相談室」をオープンしました。

このサイトは、お住まいのヒートショック対策が気になりだした方が自ら「ちょっと」情報を検索する際、

- ・お住まいの気になる部分の対策についてのリフォームはもちろん、今すぐできる対策を提案
- ・気になるお金の情報や相談窓口を外部サイトで検索
- ・対策商品の例のご紹介

といった点をサポートするサイトです。

2024年から、本プロジェクトは、住まい全体に領域を拡大し活動を展開し、「良好なおうちの環境を整えよう！」を新スローガンとして据え、プロジェクトのロゴマークとセットにしてプロモーションにおける統一ロゴとして活用し、住まいの環境整備が居住者の健康につながる情報の発信を行っております。



「あったかおうち相談室」TOP

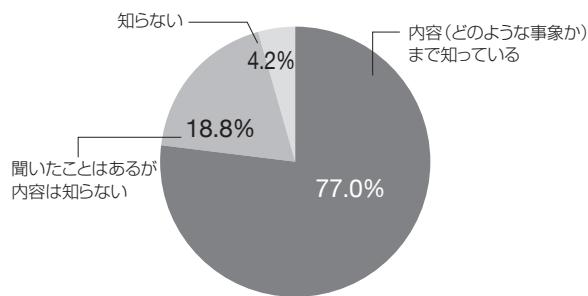


STOP!ヒートショック

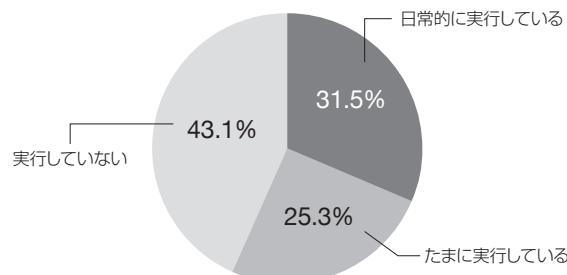
良好なおうちの環境を整えよう!

【スローガン入りのロゴマーク】

また、本プロジェクトで毎年行っているヒートショックについての調査の結果では、「ヒートショック」の認知度は9割を超えており、機器購入・リフォームなどを含め、具体的な対策の実施率は6割に満たず、本プロジェクトとして、大きな課題を感じております。



Q.あなたは「ヒートショック」について見聞きしたことがありますか?



Q.「ヒートショック」に対し具体的な対策を実行していますか?

出典:「STOP!ヒートショックプロジェクト」
一般インターネットアンケート調査2025(n=1,048)

このサイトをご活用いただくことや、本プロジェクトからの発信で認知率と対策実行率のギャップの解消につなげ、具体的なヒートショック対策に関心を持ち始めた方の「次の一步」をバックアップし、能動的な情報収集の手助けになることを目標として今後も活動を行ってまいります。

冬のおうち 寒くありませんか?

窓 玄関など
お風呂
廊下 脱衣所
トイレ
アッパマダーブカ太郎

heatshock.jp STOP!ヒートショック 検索

STOP!ヒートショック 良好なおうちの環境を整えよう!
STOP!ヒートショックとは、ヒートショックに関する認知度と実行度を高めることで、より多くの人々が快適な暮らしを送れるよう、企業団体で構成する専門組織です。

協賛企業: TOKYO GAS GROUP, CORONA, SELCOM, DAIKIN, TOTO, NORITZ, Rinnai, Paloma, パートナー: SFA, CEC, LIXIL, GSO, MAX, 協力: 東京ガス、東京都市開発、東京内科医会、日本水道衛生、アリババクラウド、日本水道衛生、神奈川県保健福祉部、兵庫県保健福祉部、岐阜県保健福祉部、愛知県保健福祉部、滋賀県保健福祉部、三重県保健福祉部、奈良県保健福祉部、和歌山県保健福祉部、熊本県保健福祉部、福岡県保健福祉部、大分県保健福祉部、宮崎県保健福祉部、鹿児島県保健福祉部、沖縄県保健福祉部、協力会員: 東京内科医会、日本水道衛生、アリババクラウド、日本水道衛生、神奈川県保健福祉部、兵庫県保健福祉部、岐阜県保健福祉部、愛知県保健福祉部、滋賀県保健福祉部、三重県保健福祉部、奈良県保健福祉部、和歌山県保健福祉部、熊本県保健福祉部、福岡県保健福祉部、大分県保健福祉部、宮崎県保健福祉部、鹿児島県保健福祉部、沖縄県保健福祉部

自分や大切な人のために、はじめよう ヒートショック対策

はじめてみよう! 今日からできる対策アクション!

温度のバリアフリー化を!

POINT 1 浴はり時に浴槽を暖める
POINT 2 脱衣室も暖めておく
POINT 3 湯温設定は41度以下に
POINT 4 入浴前、家族に一言かける
POINT 5 入浴前に水分を取る
POINT 6 かけ湯をしてから入る
POINT 7 お湯に浸かるのは10分以内
ヒートショックのリスクが高い入浴時は特に注意!

POINT おうちの断熱性を高める
POINT トイレ・廊下・玄関を暖める

※必ずしもヒートショックを起こさない事を保証するものではありません。ご了承ください。

楽しい動画やさらに詳しい情報が満載! STOP!ヒートショック公式サイトはコチラ▶

heatshock.jp STOP!ヒートショック 良好なおうちの環境を整えよう!
STOP!ヒートショックとは、ヒートショックに関する認知度と実行度を高めることで、より多くの人々が快適な暮らしを送れるよう、企業団体で構成する専門組織です。

協賛企業: TOKYO GAS GROUP, CORONA, SELCOM, DAIKIN, TOTO, NORITZ, Rinnai, Paloma, パートナー: SFA, CEC, LIXIL, GSO, MAX, 協力: 東京ガス、東京都市開発、東京内科医会、日本水道衛生、アリババクラウド、日本水道衛生、神奈川県保健福祉部、兵庫県保健福祉部、岐阜県保健福祉部、愛知県保健福祉部、滋賀県保健福祉部、三重県保健福祉部、奈良県保健福祉部、和歌山県保健福祉部、熊本県保健福祉部、福岡県保健福祉部、大分県保健福祉部、宮崎県保健福祉部、鹿児島県保健福祉部、沖縄県保健福祉部

[2025年度啓発ツール例] (ポスター)



【2025年度啓発ツール例】(シール)

昨年より大好評のプカ太郎シールは、協賛各社ショールームやイベントの活用に加え、子育てイベント、自治体や消防のセミナーなどの他、2026年始の東京・横浜の消防出初式で来場者に配布予定です。

<協賛企業>

幹事企業：東京ガス株式会社
株式会社コロナ、セコム株式会社、ダイキン工業株式会社/ダイキンHVACソリューション東京株式会社、TOTO株式会社、株式会社ノーリツ、リンクライ株式会社、株式会社パロマ、SFA Japan 株式会社、新コスモス電機株式会社、三菱ケミカルイン

フラテック株式会社、株式会社LIXIL、前澤給装工業株式会社、マックス株式会社

<協力医療団体>

一般社団法人 東京内科医会

一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会

<パートナー>

一般財団法人 日本気象協会

<後援>

一般財団法人 高齢者住宅財団、一般財団法人 ベターリビング、一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会、一般社団法人 リビングアメニティ協会、キッチン・バス工業会、日本床暖房工業会、一般社団法人 ベターライフリフォーム協会

<協力自治体>

栃木県大田原市 神奈川県横浜市 兵庫県神戸市

<協力団体>

株式会社ケアリツ・アンド・パートナーズ

<運営事務局>

株式会社ヒロモリ

8年目を迎えた「STOP ! ヒートショック」プロジェクトは、ヒートショックにかかる情報のポータルサイトとしての位置を確立しつつあり、各メディア等で取り上げられる機会もますます増加しています。更なる普及啓発のため、取り組みに共感いただける企業様の協賛を募集しております。



【公式ウェブサイトへのアクセスはこちらから】